

2001年3月15日発行  
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-15-9  
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771  
e-mail. hoshiba@ain.co.jp  
発行責任者 干場貴二

さあ、いよいよ春が来ました。もちろん寒い日もありますが、冬とは違う暖かさを感じるようになりました。ほしば歯科医院横の行船公園の桜も開花に向けて最終段階です。

もうすでに、春の行楽予定を立てておられる方もおられると思いますが、お互い楽しい春を満喫しましょう。ただし、まだまだ油断大敵、寒い日もありますのでお体にはくれぐれもお気をつけ下さい。

### 虫歯の痛み

歯医者に来院される方の多くは痛みのために我慢できずに来られます。多少の痛みのおきに歯医者に行けばひどくならずすむということは分かっていますが、なかなか敷居が高く、すんなりとは行けないものです。

さて、この痛みの原因は大きく分けて3つあります。一つは、ご存知虫歯の痛み。黙っていてもズキズキして夜も寝られませぬ。もう一つは、歯の周りの組織の痛みです。意外とこれが多いのですが、「噛んだ時にひびく」だとか、「痛くて噛めない」だとか、「固いものを噛もうとしても力が入らない」といった訴えがあるのはこの痛みです。最後は、粘膜の痛みです。いわゆる口内炎や入れ歯の痛みのように歯とは関係なく発現する痛みです。今回は、これらの痛みのうち、虫歯の痛みについて考えてみましょう。

前述のように、虫歯の痛みの多くは自発的で、何もなくても（噛んだりしなくても）痛いのが特徴です。このような状態になってしまうと、いわゆる「歯の神経」（実は神経だけでなく血管等も含む）を取って行くという処置をするしかありません。

このような処置を受け、歯の神経がないのに歯が



痛むこともあります。これが二番目の歯の周りの組織の痛みなのです。したがって、

「歯の神経がないのに痛む」ということはおおいにあるのです。

逆に、歯の神経は取ってあり、痛みもないのに「虫歯です」と言われた方もいるでしょう。ここが一番重要な所なのですが、虫歯が痛いわけではないのです。「虫歯によって歯の神経が侵されてしまう」と痛みが出るのです。つまり、そこに歯がある限り虫歯の可能性はあるのです。

まさか歯の神経を抜いたからと言って歯磨きをしなくなる人はいないでしょうが、歯の神経のない歯こそしっかり保護しなくてはならないのです。しっかり磨きましょうね。

### 在宅診療部だより

最近、訪問歯科診療は注目されており、社会におけるその役割も徐々に認知され始めました。そのせいででしょうか、最近いろいろな取材を受けるようになりました。その中で、多くの人達が躊躇（ちゅうちょ）している理由に診療費を気にされているということが分かりました。そこで、訪問診療の診療費について解説しておきましょう。

私たちが拝見している患者さんの多くは高齢者であり、多くは老人保険証を所持されている方です。このような方は診療室では1回 800円、月額最高3200円いただいています。訪問診療についても、これとまったく同じ金額で行なっています。その他の保険証の場合は1回当たり2000円から3000円の加算があります。制度上は、これに交通費を算定することも出来るようになってはいますが、当院では無料にて行なっています。

もちろん元気に通院していただけることがベストですが、もし通院できなくなってもお気軽にご相談下さい。

### 人事

来年度から新人の歯科医師が就職予定です。一人前になるまでは皆様にご迷惑をおかけするとは思いますが、暖かく、厳しいご指導をお願い致します。

## 患者さんのお話

当院では、週に2回ほど近くにある特別養護老人ホーム「暖心苑」にて入居者の診療を行なっています。全入居者は100名を越える大きな施設で、とても開放的な明るい施設です。今回は、ここで診療をしているTさん(男性)についてご紹介しましょう。

2階に部屋のあるTさんは手足に障害があり、電動車椅子での生活です。しかしとても温和で、入居者の皆さんからも慕われています。もちろん僕たちが訪問に行っても一番に迎えてくれます。電動車椅子の乗りこなしも最高にうまく、幅がぎりぎりの所でも難なく通過していきます。

Tさんも僕たちの患者さんなのですが、自分の診療が終わると近くにいる人たちに、

「歯医者さん来てるよ。入れ歯大丈夫？」

と声をかけて回ってくれます。また、次の患者さんを呼びに行ってもくれます。おかげで毎回スムーズに診療が行なわれます。

ある時、いつも2階で診療していたのですが、Tさん以外の患者さんが3階だったために、Tさんに3階まであがってきてもらいました。するとここでも3階の皆さんに、

「Tさん、どうしたの。久しぶりだねえ。」

「元気？」

などと声をかけられていました。Tさんはどこに行っても人気者のようです。

暖心苑にはTさんをはじめ楽しい方がいっぱいいます。診療よりも皆さんに会うことが楽しみだったりして。

## 診療のお話

### 保険と自費の違い 3

さて、保険と自費の違いは少しお分かりになっていただけましたか。今回はその最終回として入れ歯の違いについてご紹介しましょう。

保険の入れ歯は基本構造としてプラスチックです。その中に補強のための金属や歯にかけるためのバネが金属でついていることもあります。基本的にはプラスチックで出来ています。それに対して自費の入れ歯では、基本的な骨組みが金属で出来ています。もちろん歯の部分や目立つ所はプラスチック等で出来ており、見た目にはどちらの入れ歯も変わりません。

自費の入れ歯は薄くて強度があり、装着した時の違和感が少ないという利点があります。しかし、長年の使用や残っている歯を抜いてしまったりした後に修理をする時は限界があります。これはプラスチック同士は科学的にくっつくのですが、金属とプ

ラスチックはくっつかないという性質があるからです。したがって、まだ不安な歯が残っており、もししたら近いうちに抜かなければならない歯がある時や一時的に入れ歯を作る時は保険のものが良いでしょう。しかし、残っている歯をしっかりと保存していきたい時や発音に関わる職業(アナウンサーや俳優、営業職や電話オペレーター等)の方はご相談下さい。

値段の方は、入れ歯の設計(歯の残り方やその状態)に応じて差がありますが、30~60万円になります。こちらの方も担当医にお確かめ下さい。

〔文責 五島〕

## ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771 (院長直通)

e-mail hoshiba@ain.co.jp (干場)

tomogoto@ra2.so-net.ne.jp

(在宅診療部; 五島)

## 編集後記

もう春です、なんて書こうと思っていた矢先に雪が降りました。天気って本当に気まぐれですね。われわれはエアコンがあったりストーブがあったりして何とか調整できますが、さあこれからと思っていた桜の木はどうしてるんでしょうね。結構ダメージを受けているのでは、などと思ってしまう今日この頃です。

さて、季節はともかくいよいよ新年度が始まります。春の陽気に合わせて気持ち良いスタートをきりたいですね。(T)

## コラム

### 生・老・病・死

人間の営みのこと。生きることは重要ですが、老いること、病むこと、そして死ぬことも大事にした人生にしていきたいですね。